



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月31日

上場会社名 アクセルマーク株式会社 上場取引所 東
コード番号 3624 URL http://www.axelmark.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾下 順治
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務本部長 (氏名) 野口 仁 TEL 03-5354-3351
四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績 (平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	2,572	△0.0	54	166.1	51	65.8	25	17.6
25年9月期第3四半期	2,573	△10.6	20	△91.2	30	△86.4	21	△89.0

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 25百万円 (17.6%) 25年9月期第3四半期 21百万円 (△89.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	5.75	5.65
25年9月期第3四半期	4.89	4.87

(注) 当社は、平成25年4月1日付にて普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	1,972	1,589	80.6
25年9月期	1,957	1,564	79.9

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 1,589百万円 25年9月期 1,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想 (平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,374	△4.2	42	△39.3	39	△50.8	9	△87.0	2.06

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期3Q	4,370,900株	25年9月期	4,370,900株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	33株	25年9月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期3Q	4,370,883株	25年9月期3Q	4,370,900株

(注) 当社は、平成25年4月1日付にて普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続の実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境としては、日本国内におけるスマートフォン端末の普及が拡大を続けており、MM総研の調査によると平成26年3月末におけるスマートフォン契約数は5,734万件で携帯電話契約数の47.0%（平成25年9月末時点から4.8%上昇）となっております。さらに、平成31年3月末にはスマートフォン契約数が1億件を突破するとみられており、今後も契約数の増加によりスマートフォンアプリ市場の拡大が見込まれております。

このような市場環境の下、モバイルゲーム事業においては、当第3四半期連結累計期間に新規ゲームタイトル及び新サービス開発への投資を積極的に拡大してまいりました。社内体制を新規開発に重点シフトすると同時に、高品質なゲームを開発するラインを増やす新たな試みとして外部からの招へいにも取り組んでまいりました。その結果、ネイティブゲームアプリを開発する株式会社Interraps（孫会社）を設立し新たな開発ラインを確保いたしました。広告事業ならびにコンテンツ事業においては、スマートフォン向けサービスの売上拡大に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,572,078千円（前年同期比0.0%減）、営業利益は54,065千円（前年同期比166.1%増）、経常利益は51,314千円（前年同期比65.8%増）、四半期純利益は25,153千円（前年同期比17.6%増）となりました。

各セグメントの業績は次の通りであります。

(モバイルゲーム事業)

モバイルゲーム事業につきましては、「Mobage（モバゲー）」などにおいて提供しているブラウザゲーム「天空のレギオン」や「王様ゲームー共闘ー」など既存タイトルの売上は安定的に推移しております。さらに、当第3四半期連結会計期間においては、平成26年6月20日に株式会社gloopsとの協業タイトル「三国志ドライブ」をリリースいたしました。本タイトルは、当連結会計年度第4四半期以降の収益貢献を期待しております。

新規ゲームタイトルへの投資では、平成26年4月11日にネイティブゲームアプリを開発する株式会社Interraps（孫会社）を設立し新たな開発ラインを増やしました。また、人員の配置転換や新規採用、不採算タイトルからの撤退により人的リソースを新規開発へ集中させ、今後の事業拡大に向けた投資を積極的に拡大いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,378,716千円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益は148,026千円（前年同期比142.2%増）となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業につきましては、フィーチャーフォン向け売上については引き続き減少する傾向が継続しております。今後のスマートフォン向けサービス拡大のため、スマートフォンアプリ版のコミックサービスの新規開発を行ってまいりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は401,060千円（前年同期比29.9%減）、セグメント利益は28,598千円（前年同期比57.1%減）となりました。

(広告事業)

広告事業につきましては、フィーチャーフォン向け広告の売上が引き続き減少する中、スマートフォン向けアドネットワーク「ADroute」の売上拡大に注力してまいりました。「ADroute」は、クライアントからの出稿ニーズの高まりを背景に売上を拡大させており、当第3四半期連結会計期間の広告事業の売上は直前四半期比26.8%増と大きく伸張いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は794,703千円（前年同期比14.7%増）、セグメント利益は51,246千円（前年同期比29.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、のれんが償却により84,510千円減少したものの、現金及び預金が106,792千円増加したこと等により前期末に比べて14,726千円増加し、1,972,255千円となりました。

負債については、未払法人税等が14,994千円増加したものの、短期借入金の返済9,250千円、賞与引当金が18,105千円減少したこと等により前期末に比べて10,388千円減少し、382,789千円となりました。

純資産については、四半期純利益25,153千円の計上により、前期末に比べて25,114千円増加し、1,589,465千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

モバイルゲーム事業につきましては、既存のロングヒットタイトルにおいて、ユーザーに長く楽しんで頂けるためのゲーム内イベント等の施策を実施することで収益を維持し、今後リリースを予定している新規タイトルの開発投資を積極的に行い将来の収益拡大を目指してまいります。

コンテンツ事業につきましては、スマートフォンアプリ版サービスの開発を推進し、スマートフォン向けサービスの拡大を目指してまいります。

広告事業につきましては、引き続きスマートフォン向け広告サービスの収益拡大に注力してまいります。

当社グループの事業を取り巻く環境は急速に変化し、事業の成長速度を予測することが難しいことから、当社は四半期ごとの業績発表時に翌四半期の業績見通しを公表させて頂いております。なお、下記の「平成26年9月期連結通期業績予想」は、平成26年9月期第3四半期連結累計期間の実績値に、第4四半期連結会計期間の業績見通しを加算したものとなっております。

平成26年9月期連結通期業績予想（平成25年10月1日～平成26年9月30日）

売上高	3,374百万円
営業利益	42百万円
経常利益	39百万円
当期純利益	9百万円

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるアクセルゲームスタジオ株式会社が新たに設立した株式会社Interrapsを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	968,256	1,075,049
売掛金	497,586	491,685
仕掛品	3,803	—
貯蔵品	1,323	1,101
その他	34,995	41,326
貸倒引当金	△13,956	△13,532
流動資産合計	1,492,008	1,595,629
固定資産		
有形固定資産	23,987	20,671
無形固定資産		
のれん	371,555	287,044
その他	1,906	3,580
無形固定資産合計	373,462	290,625
投資その他の資産		
敷金及び保証金	68,071	65,328
その他	0	0
投資その他の資産合計	68,071	65,328
固定資産合計	465,520	376,625
資産合計	1,957,529	1,972,255
負債の部		
流動負債		
買掛金	210,702	216,901
短期借入金	9,250	—
未払法人税等	10,021	25,016
賞与引当金	35,511	17,405
ポイント引当金	12,228	11,704
その他	114,831	111,762
流動負債合計	392,546	382,789
固定負債		
その他	632	—
固定負債合計	632	—
負債合計	393,178	382,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	563,900	563,900
資本剰余金	1,116,770	1,116,770
利益剰余金	△116,518	△91,364
自己株式	—	△25
株主資本合計	1,564,152	1,589,281
新株予約権	198	184
純資産合計	1,564,351	1,589,465
負債純資産合計	1,957,529	1,972,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,573,305	2,572,078
売上原価	1,560,799	1,578,016
売上総利益	1,012,506	994,061
販売費及び一般管理費	992,189	939,996
営業利益	20,316	54,065
営業外収益		
受取利息	80	659
受取配当金	33	—
助成金収入	11,261	—
その他	2,517	204
営業外収益合計	13,892	864
営業外費用		
支払利息	279	93
株式上場関連費用	2,948	2,386
解約違約金	—	964
その他	37	169
営業外費用合計	3,265	3,614
経常利益	30,943	51,314
税金等調整前四半期純利益	30,943	51,314
法人税、住民税及び事業税	9,560	26,161
法人税等合計	9,560	26,161
少数株主損益調整前四半期純利益	21,382	25,153
少数株主利益	—	—
四半期純利益	21,382	25,153

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,382	25,153
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	21,382	25,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,382	25,153
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	モバイル ゲーム事業	コンテンツ 事業	広告事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,312,785	571,722	688,797	2,573,305	—	2,573,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	4,175	4,175	△4,175	—
計	1,312,785	571,722	692,973	2,577,481	△4,175	2,573,305
セグメント利益	61,109	66,620	72,137	199,867	△179,550	20,316

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	199,867
のれんの償却額	△46,113
全社費用(注)	△133,437
四半期連結損益計算書の営業利益	20,316

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	モバイル ゲーム事業 (注)	コンテンツ 事業	広告事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,378,716	401,060	792,302	2,572,078	—	2,572,078
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,400	2,400	△2,400	—
計	1,378,716	401,060	794,703	2,574,479	△2,400	2,572,078
セグメント利益	148,026	28,598	51,246	227,871	△173,806	54,065

(注)平成26年9月期第1四半期より、従来の「ソーシャルゲーム事業」から「モバイルゲーム事業」へとセグメント名称を変更しています。

なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	227,871
のれんの償却額	△45,389
全社費用(注)	△128,417
四半期連結損益計算書の営業利益	54,065

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。